

ボ デ ー

1. アクセルレータ リンケージ

アクセルレータをワイヤ方式とし車室内への振動，騒音の低減をはかりました。さらにアクセルレータ ワイヤとアクセル ペダルの結合部に，ゴム クッションを追加し，アクセル ペダルへの振動伝達を少なくしました。

また，回転式アイドル アジャスタを採用し，操作性を向上しました。アイドル アジャスタ ノブを10回転させることにより，エンジン回転数を650～2500rpm まで変化させることができます。

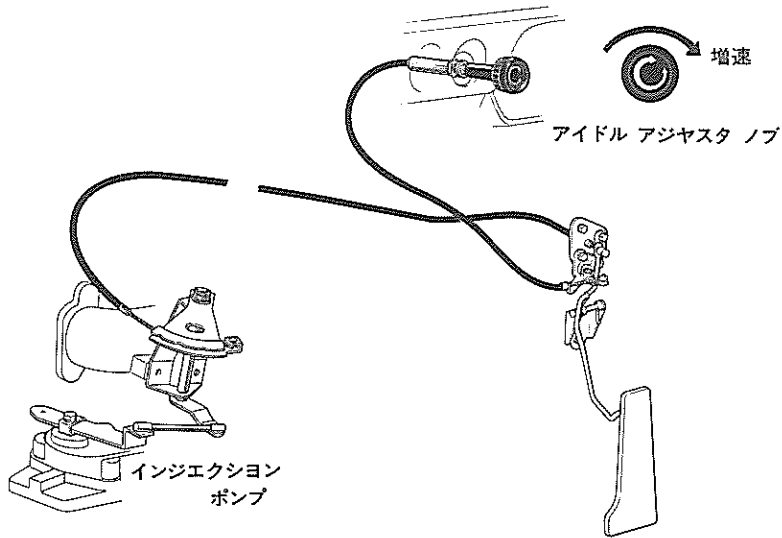


図5-1 アクセルレータ リンク関係図

T7508

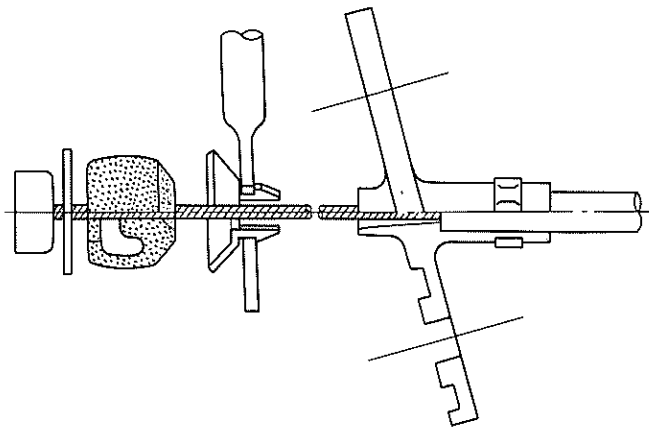


図5-2 アクセルレータ ワイヤとアクセル ペダル結合部

T7509

2. サイレンサ

騒音低減のため下記の変更を行いました。

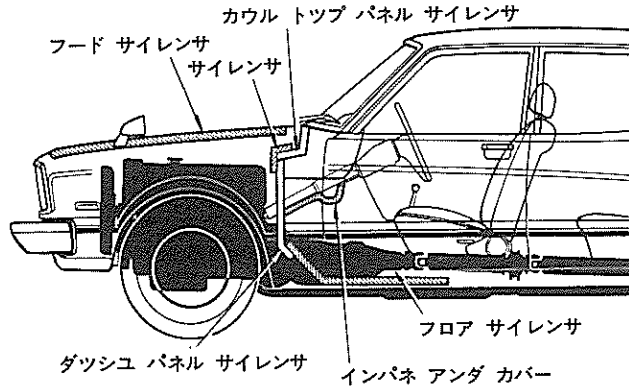


図 5-3 サイレンサ

T7510

① フード サイレンサ

サイレンサとフード間の空気層を厚くしました。

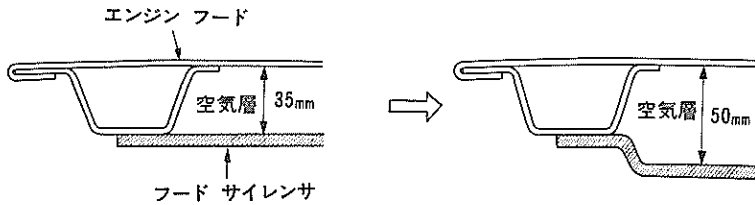


図 5-4 フード サイレンサ

T7511

② カウル トップ パネル サイレンサとダツシユ パネル サイレンサの継ぎ目にサイレンサを追加しました。

③ フロント フロアにフロア サイレンサを追加しました。

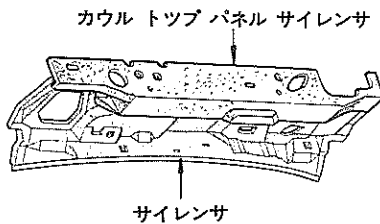


図 5-5 サイレンサ

T7512

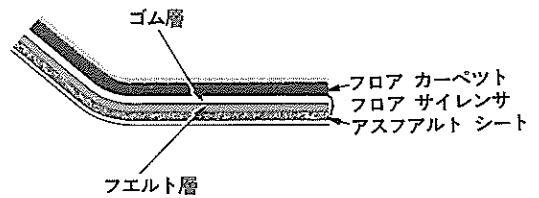


図 5-6 フロア サイレンサ

T7513

ボデー

- ④ 運転席側にインパネ アンダ カバーを新設しました。

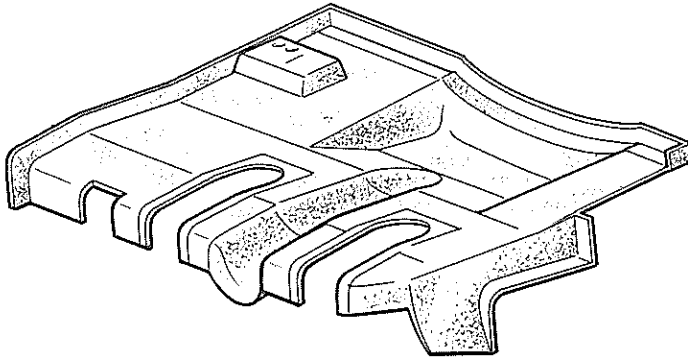


図5-7 インパネ アンダ カバー

T7514

- ⑤ 2重シフト レバー ブーツを採用しました。(TX, RX, MX系は54年7月より実施済)

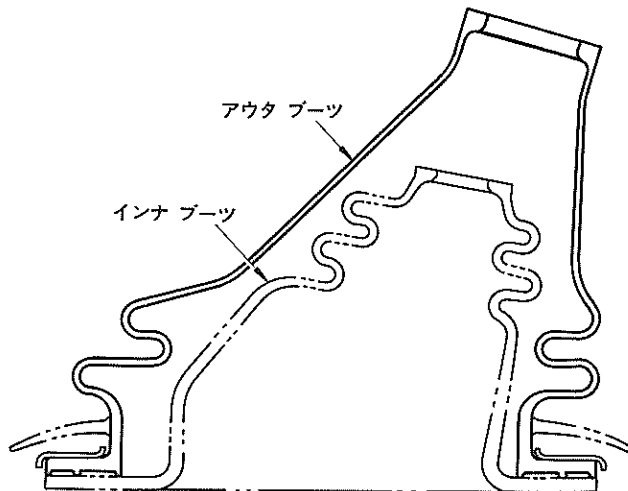


図5-8 2重シフト レバー ブーツ

T7515

ボデー

3. マークおよびコーションプレート

「2.2D」のマークをアツパ バック パネル左側に取り付けました。

また、燃料識別のため「軽油」のコーションプレートをフューエル フィラー リツド上部に貼布しました。

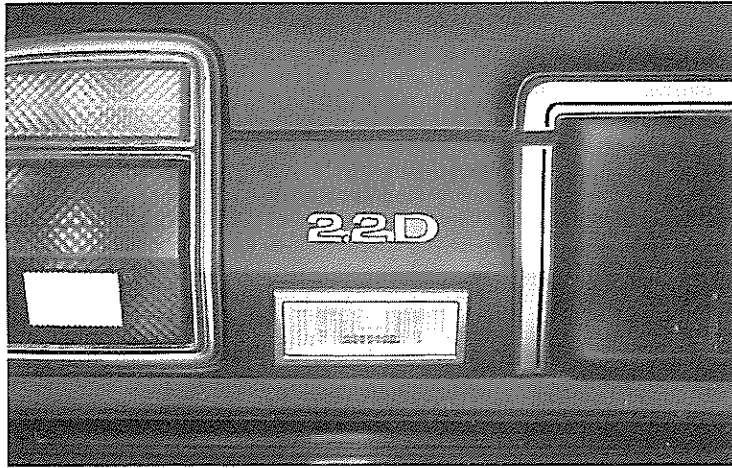


図 5 - 9 2.2Dマーク

A2084



図 5 - 10 燃料コーションプレート

A2085